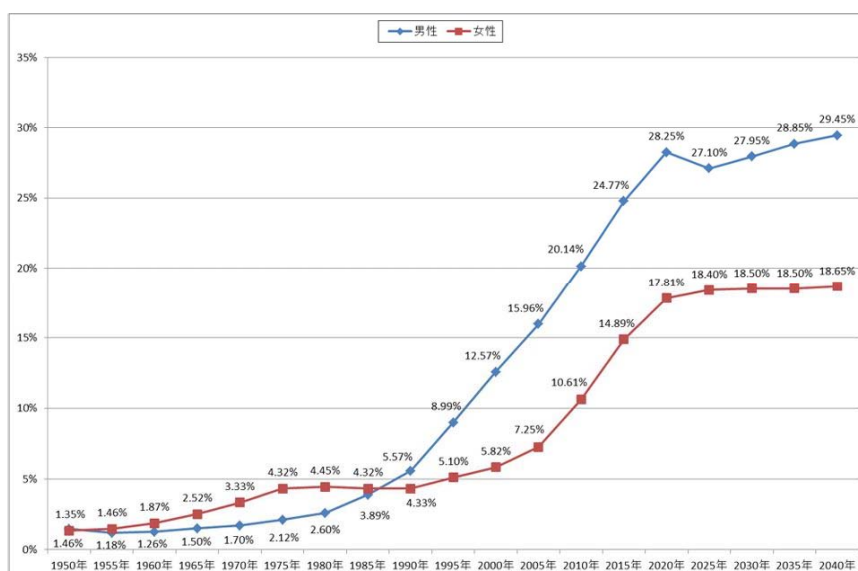


## 1. 少子化問題

国の調査では、日本の少子化は急速に進んでおり、50歳時の未婚割合は、1970年で男性1.70%、女性3.33%であった。その後、男性は一貫して上昇する一方、女性は1990年まで横ばいであったが、以降上昇を続け、2020年では男性28.3%、女性17.8%と上昇している。

図表 2-2 50歳時の未婚割合の推移



出典：2020年までは総務省統計局「国勢調査」、それ以降は国立社会保障・人口問題研究所「日本の世帯数の将来推計（全国推計）」（2018年推計）より作成。

## 2. なぜ結婚できなくなったのか

ここで記載するのは、あくまで個人的な意見であるため、決して差別的な意味ではない子とは理解していただきたい。

自分の親世代にとって、結婚とは当たり前のことであり、社会的にも幸福であると思われてきた。そのため男性側は、結婚を当然と思い、女性側は、20代で結婚することが大事という考え方があり、男女でWin-Winな状態であった。しかし現代においては、社会よりも個人の自由が尊重されてきており、結婚（社会制度）＝絶対といった仕組みが崩壊し始めている。そのため、結婚しなくても別の幸福（趣味、推し活等）があれば満足といった考えが生まれている。



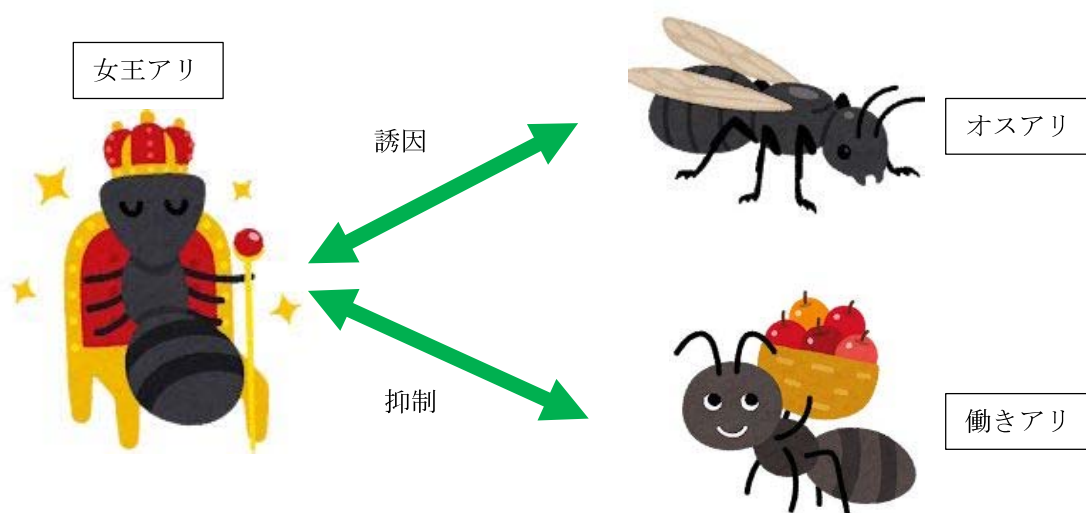
結婚しなくても、別の幸福があるため結婚を選択しない

働く女性が増加したことで、結婚かキャリアの選択で悩む女性増加

### 3. 自然生物から学べること

僕がここで提唱したいことは、「フェロモンマッチング」である。

例えば、社会性のアリは、女王アリが分泌する多数のフェロモンによって行動が決定している。その中でも性フェロモンは強力で、働きアリ（メス）の性欲を抑制し、オスアリを誘因することができる。生物界では、繁殖と繁栄が目的であるため、こうした方法が確立しているが、人間界でも応用できると考える。



### 4. フェロモンと人間

フェロモンとは、動物や植物が体外に分泌する化学物質で、特定の行動や生理的变化を起こすものである。特に、嗅覚に作用する匂い化合物が一般的にフェロモンと呼ばれている。

人間には機能する鋤鼻器（フェロモンを感じる器官）がないため、感知できないと考えられていたが、最近の研究で、嗅覚器官（鼻）でフェロモンを感じる事がわかってきた。

個人的に最近の男女は、どこでもスマホを見たり、音楽を聴いたりと会話（コミュニケーション）が減ってきたと感じている。さらには、合コンやお見合いは衰退し、マッチングアプリなどの出会い系が急速に浸透してきた。

しかし実際、出会いは増えるが、結婚相手に巡り合う確率は低い。その理由としては、結婚目的でない人や真剣交際でない人とも出会ってしまうため、慎重に見抜いていく必要があるからだ。

なので、フェロモンを感じれるようになれば、その人が出すフェロモン（ここでは真実フェロモンと呼ぶ）を感知し、嘘をついているか、真剣に交際したいのかを確実に判断できる。好きな人同士であれば、波長が合うと同じで、真実フェロモンを感じあうことができる。

これは、浮気や不倫といった不純な行動を見抜く際にも有効である。いわば究極のウソ発見器である。



#### 【婚活パーティーの場合】

- お互いのフェロモンをチェック（本当の好きなのか確認する）。ただ、初対面だと好きになる時間が短いので、3 回程度会った相手の方が効果的である。行為のある相手に対しては、最後に再度確認する。



#### 【マッチングアプリで会う場合】

- お互いのフェロモンをチェック（本当の好きなのか確認する）。
- 結婚目的でない人や真剣交際でない人の場合は、自分に対してフェロモンがでない。
- 相手が言葉で、「好き」、「本気です」といった場合でも、フェロモンを確認し、嘘かどうか確認する。嘘の場合は、すぐ帰りましょう。

## 5. 感想

フェロモンの世界は非常に奥が深い。警戒フェロモンは、危険な人（犯罪者等）が近づいてくるとみんなに知らせる信号を出すこともできる。視覚・聴覚で判断する人間には、嘘を見抜く力が弱いので、詐欺や犯罪に巻き込まれやすい。特に、未成年や高齢者が対象となりやすく、次世代の子どもたちを守るという意味でもフェロモンを活用した防衛術、真実の愛を見つける手段として応用できる。